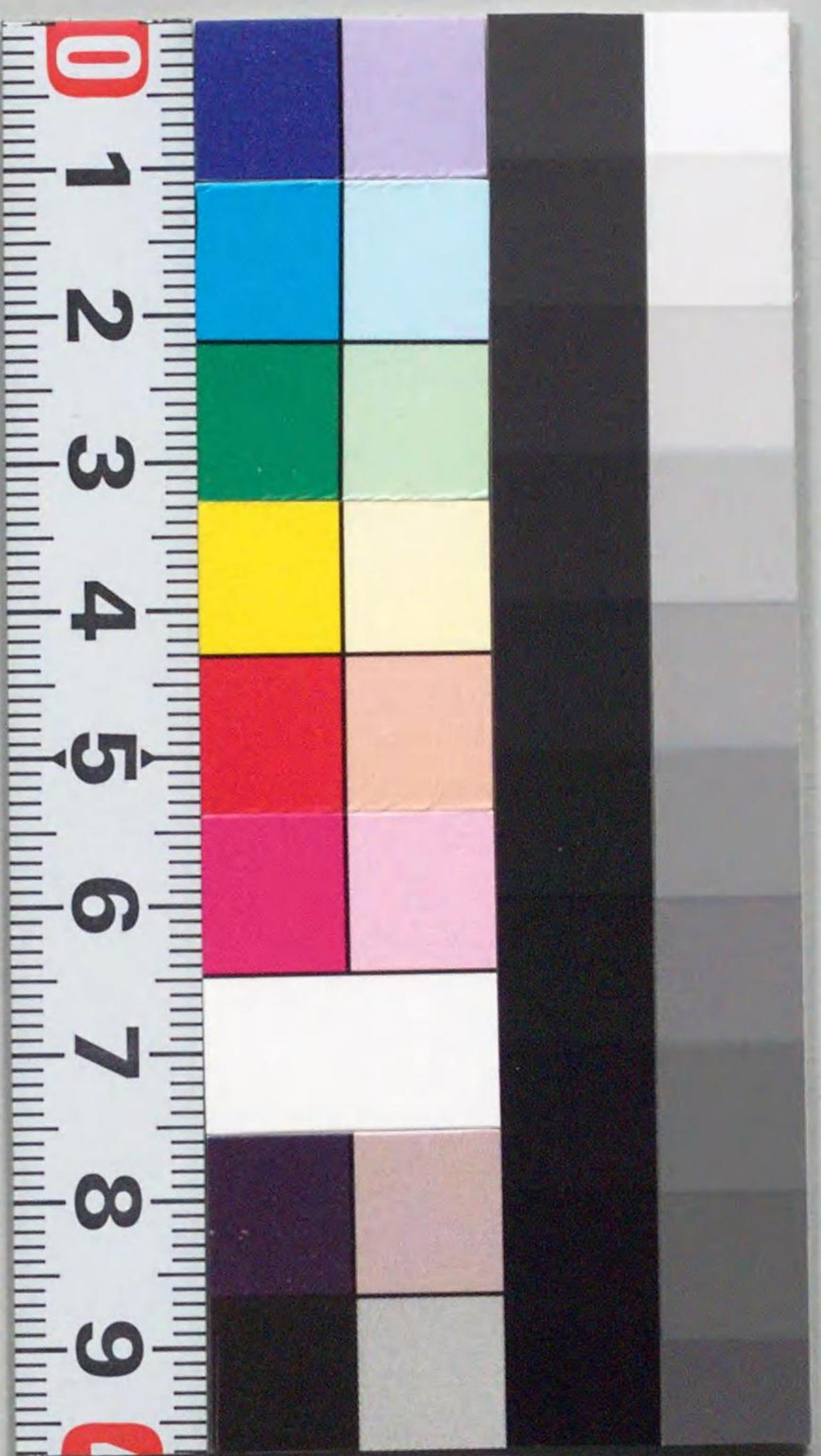


Y994
J4289

保存用

昭和十九年度事業及會計報告書

法人團
日
本
映
画
社



Y994
J4289

目次外

△事業報告

目次

一	概況說明	一
二	製作狀況	二
1.	時事映画	二
口	文化映画 啓蒙宣傳映画 記録映画	四
八、	海外向け映画	六
二	教育映画	六
木	委託映画	九
ハ、	術課映画	〇
三、	一般業務	一
1.	海外支局並ニ現地勤務職員	一



I 種
W



1200701776732

口	二工一又劇場ノ直営	一四
ハ	製 作 所	一五
ニ	機 材ノ整備	一六
ホ	航空機運用協定ノ実施	一七
ヘ	敵 産 管 理	一七
四	庶 務 事 項	一八
イ	社 員 總 會	一八
ロ	理 事 會	一九
ハ	役員ノ選任並ニ異動	二〇
ニ	職制ノ改正並ニ支社局ノ開設	二〇
ホ	諸規程ノ制定	二三
ヘ	現在職員数	二五

ト	事 務 所	二八
チ	出資並ニ寄附金	二九
リ	社 葬	三〇
△	審 計 報 告	三一
イ	貸借對照表	三三
ロ	収支計算書	三六
ハ	財 産 目 録	三七
△	改 正 職 制	四一
機	構 改 正	四三

昭和十九年度事業報告

(自昭和十九年四月一日
至昭和二十年三月三十一日)

一、概況説明

本社ハ茲ニ事業第五年度ヲ迎ヘ急迫セル戦局ト緊張セル國內態勢ニ即応シ
一致団結ソノ課セラレタル快命ノ達成ニ邁進シタル結果下期ニ於テ愈々激
化セル空襲下ニ在リテモ克クソノ重大ナル職責ノ完遂ニ努メ概不最善ノ成
果ヲ収メ得タリ

即チ事業ノ遂行ニ当リテハ、資材ノ不足、人員ノ補充難、戦災者ノ統出
支社局ノ戦災被害等凡ソル障害ヲ克服シテ製作並ニ一般業務共ニ円満方面ノ
負担ニ応ヘ、戦力ノ増強ト戦意ノ昂揚ニ資シ併セテ思想戦、文化戦ニモ大ナ
ル効果ヲ奏メ得タリ。

又、敵局ノ推移ニ伴フ使命ノ加重ト非常事態ノ發生ニ備ヘ殊ニ海外諸地域
所在ノ支社局ニ対シテモ同様ニ情勢ニ呼応シテ直今ニ危局ニ忝スルノ諸対策
ヲ講スル等未曾有ノ難局ニ処スル國策機關トシテソノ任務ノ遂行ニ邁進ナキ
ヲ期シタリ。

本期間ニ於ケル事業ノ概況左ノ如シ

二、製作状況

イ、時事映画

本期間ニ発行セル「日本ニユース」ハ、第二〇一号ヨリ第二四八号迄ニ
シテ焼増本数ハ毎号二〇〇本平均ナリ。

尚、第二四五号ヨリ資料、輸送、郵給ノ関係ヨリ隔週ニ封切上映スルコ
ト、ナレリ。

戦局愈々苛烈化スルニ及ビ大東亞戦争全域ニ亘ル前線ノ再騰ナル様相ハ
軍報道班員及従軍特派員ノ決死的撮影ニヨリ録音公開シ、以テ國民ノ啓蒙
指導士氣昂揚ニ大ナル影響ヲ與ヘソ、アルモ、就中、「比島沖海戦」
「陸海特攻隊」ハ國民ニ対シテ多大ナル感銘ヲ與ヘルト模ニ、我々國映画史上
ニ不滅ノ記録ヲ止メルニ至レリ。

尚、「第二三三三号比島沖海戦、神風特別攻撃隊」
「第二三四号万歳、海陸軍特攻隊」
「第二三五号スリカオ夜襲」ハ内容ニ於テ決戦下鋭後國民
必見ノ映画トシテ、一般公開ニ先立テ発表会ヲ開催セントコロ、特ニ第二
三三三号ニ於テハ入場員數、四回上映、二万五千名ヲ數ヘタルモ統々ト殺倒
スル観客ハ収容シキレズ遂ニ整理警官ノ出張ヲミルニ至ルノ盛況ヲ呈セリ。
尚本、本映画ノ撮影担当者六名八十一月九日、社団法人大日本映画協会
ヨリ表彰セラレタリ。

口、文化映画ノ啓発宣傳映画・記録映画

本期ノ製作発表状況ハ「轟沈」以下 本ニシテ、之レニ未封切

「マナバル山」「征け大空」「若き東亞」ヲ加ヘ計 本ナリ

敵機ノ本土爆撃カ熾烈化スルマ、ソノ必要性ニ応ジ啓発宣傳映画ト共ニ
新ニ「防空情報」企画製作セラレ、民防空ニ多大ナル指導ト成果ヲ収メツ
ツアリ

本期中ニ於ケル作品次ノ如シ

- 轟 沈 (八卷) 在支米空軍撃滅ノ記録 (四卷)
- ラバウル前線報告 (二卷) 南太平洋前線 (二卷)
- 戦争と海藻 (二卷) 海軍經理學校 (三卷)
- 最初の一分間 (五卷) 大陸縦断二千料 (二卷)
- セレベス (十五卷) 命を捨て (六卷)

- 征け予科練 (二卷) 陸軍特別攻撃隊 (六卷)
- 大東亞陸軍戦記 (三卷) 神風特別攻撃隊 (三卷)
- 印緬補給戦 (二卷) 決戦輸送 (二卷)
- 敵の焼夷弾を浴ぐ (一巻) 北九州に於ける空爆の戦訓 (一巻)
- 爆撃と待避所 (一巻) 征け志願戦士 (二巻)
- 待避は何時すれば良いか (一巻) 為人よ海へ (二巻)

赤 勢 力

- 独立機は進む 印緬作戦
- 南の荒鷲 大陸作戦
- 北洋最前線 鉄道建設
- 海外向
- なわとひ
- 工場と音楽

造船日本 (三卷) 東亞の土 (三卷)

日本の女學生 (三卷)

ソノ他発表ヲ許サレザル作品多数

而シテ右依田中「轟沈」ハ在支米空軍撃滅の記録ハ文部省推薦映画トナリ、特ニ「轟沈」ハ昭和十九年度優秀作品トシテ文部大臣特賞ヲ授映セラレタリ。

ハ、海外向映画

大東亜共栄圏各地ノ現地人ニ対スル宣撫啓発工作ニ資スル為製作セル「日本ニユース海外版」左記ノ如シ

マライ版大東亜ニユース(半島版)第六十三号ヨリ第九十九号マテ

同 (東印度版)第六十三号ヨリ第九十九号マテ

泰國版 (世界新聞)第六十九号ヨリ第九十九号マテ

佛印版 (世界新聞)第七十二号ヨリ第一〇二号マテ

比島版 (大東亜ニユース)第六十三号ヨリ第七十四号マテ

六月十四日ヨリ二十日ニテ中止

ヒルマ版 (大東亜ニユース)第六十五号ヨリ第九十八号マテ

中華版 (萬國電影新聞)第五十六号ヨリ第八十六号マテ

セレハス版 (大東亜ニユース)第十号ヨリ第四十八号マテ

又記録映画、啓発宣傳映画、劇映画等ニシテ同シク南方映画工作用トシテ各國語版録音ニヨリ改訂編輯ヲ為シタルモノノ外自主作品トシテ製作シタルモノ「侍房」他多数アリ

ニ 教育映画

國民学校及中学校ヲ对照トシ、教材用、課外用ノ教育資料トシテ製作セル十大紀映画ハ、本年度モ前年度ヨリ引続キ着々成果ヲ挙ゲツ、アルカ、

本期間ニ於ケル製作状況ハ次ノ通りナリ。

課外用映画トシテ

日本ニユース（発声版） 第一九〇号ヨリ第二三五号マテ 四六回

映画月報 第十三号ヨリ第二十四号 一二回

他ニ特暉号ニ本

記録映画（無声版） 「轟沈」

（無声版） 「艦士に誓ふ」

教育用映画トシテ

南の反逆 新生するジマワ

拓け行くホルネオ 馬とリんご

學童疎用 手旗通信

生産技術映画トシテ

平面の粗さ 動機研究

以下各種が製作発行使ラレツ、アル。

水巻誌映画

軍官廳、公共団体等ヨリ委託ニ依リ製作セル主ナル作品次ノ如ク

陸軍予科士官學校行幸御記録 陸軍予科士官學校

海軍サツマ号 海軍省軍務四課

陸軍經理本校ノ記録 陸軍經理學校

潜水艦〇〇訪独記録 海軍省軍務四課

シマノクナル 陸軍教育総監部

紀元二六〇〇年記念映画 内閣紀元二六〇〇年祝典事務局

防空監視哨 防空總本部

独立旗の下に 情報報局

海軍經理學校

小夏増産

箱熱病

必勝歌

特幹の歌

轟沈

補給の雄叫び

術課映画 (特別映画製作所依託)

積乱雲

この一片

海軍經理學校

翼賛壯年団

後勤映聯委託

情報局委託

陸軍報道部

情報局

陸軍經理學校

陸軍氣象部

航空工業会

製図篇
化工篇

眼て見る工作術 (工作機械篇)

海軍艦政本部

鍛造篇
その他

三一 一般業務

1. 海外概況

本社機構改革に伴ひ南方各支社局間の主幹としてマニラ市に南方総局ヲ設置、海外局長、南方總局長を兼務、統轄を因る事とせり。

從テ南方總支社は昭南支社に、マニラ支局はマニラ支社に改稱せられり。南方總軍命に依り南方地域映画事業並に映画現地製作は之を「一元」的に日映南方總局に委託經營と決定

支那大陸方面にては中、南支に新作歐南始せられ、ビルマ地區より印度

方面進攻作戦も前年度より引続き天々軍の要請に応へ、戦場報道隊を組織
映画報道任務に推進せしめ、「大陸新戦場」は完成「大南方航空作戦記録」
は完成準備中

シヤカルタ製作所は益々内容強化「南方報道」現地映画製作に拍車を加
へつゝあり。マニラ支社亦強力に製作に献身、「新比島ニュース」他格別
宣伝映画製作に努め、大作「三人のマリア」の完成を見せり

昭南には現像所設置せられ、将来に備へ盤谷、西貢製作要具、資材聚集
に奔走、スマトラ、セレベス等各支局共々ニュース取材撮影を行ひつゝあ
り。

マニラ支社は敵米のレイテ島侵襲より比島への上陸に際し全員特攻隊精
神を以て報道任務に邁進しあり

ビルマを始め其他各支社局、出張所亦空海陸よりの敵襲就中増化せる

空襲に耐へて業務に精進、不自由なる本社との連絡にも良く其の使命を果
シつゝあり。

本期中ニ於ケル各支社局作品数左ノ如シ

マニラ支店

ニュース映画

二七本

劇映画

「三人のマリア」

一本

シヤカルタ製作所

ニュース映画

三〇本

啓発宣傳映画

一六本

劇映画

六本

昭南支社

三本

セレベス支社

四本

ビルマ支局 三本
 スマトラ支局 六本
 盤谷支局 九本
 マライ支局 二本

口、直営ニユース劇場

ニユース劇場ハ前期ヨリ引續キ静岡日映ニユース館、丸の内日映劇場、
 神戸日映劇場ノ三館ヲ直営、時事映画、格格宣傳映画、文化映画等ノ上映
 ニ依リ、直接國民ニ対シ、國策ノ浸透、戦意ノ昂揚ニ資シツ、アリシトコ
 口、静岡日映劇場ハ縣当局ノ昼間興行廃止ノ方針ニ基キ、百貨店ホール利
 用ノ同劇場ハ夜間使用不能ノ為メ九月二十一日限り休館セリ。丸の内日映
 劇場ハ本社撮影機材ノ疎用目的ニ使用ノタメ三月十日限り休場中ニシテ、

神戸日映劇場ハ三月十六日ノ空襲被害ノタメコレ亦休場中ナリ。

右ノ如キ状況下ニアリシ昭和十九年四月以降三館ノ観客動員數ハ次ノ通
 リナリ。

静岡日映ニユース館 六六六三名(九ニヨリ休場)
 丸の内日映劇場 五六八七四名(三二〇ヨリ休場)
 神戸日映劇場 九六三一八名(三二七ヨリ休場)

ハ、練馬製作所、中野製作所ヲ廃止シ總務局ニ練馬現像所、中野現像所ヲ置

ク、

本期間中ニ於ケル現像所ノ作業員數次ノ如シ

練馬現像所 三二七六二四四呎
 中野現像所 二一八七三四一呎
 計 五四六三五八五呎

株式会社電通映画社ヲ委任經營ニ依リ蒲田現像所ヲ設置シタルモ事業ス
ルニ至ラス

二、機材ノ整備

本期末ニ於テ当社ノ保有スル主ナル撮影機ハ左ノ如シ

一、ア	イ	モ	撮影機	六	五台
一、バ	ル	ホ		二	一台
一、ベル	ハウ	エル		五	台
一、ミ	ツチ	エル		七	台
一、ア	ケ	リ		三	台
一、ユ	ニ	ハ	ー	サ	ル
一、ア	ス	カ	ニ	マ	
一、テ	グ	ラ	イ		二台

ホ、航空機運用ニ就テ

一、ウ	オ	ー	ル		一	台
一、ス	ー	バ	ー	バ	ル	ホ
一、高	速	バ	ル	ホ		一
一、エ	ル	ネ	マ	ン		一
一、バ	テ	ー				一
一、ウ	イ	リ	ア	ム	ソ	ン
一、十	六	ミ	リ			二
						五
						台

前期ニ引続キ社団法人同盟通信社トノ運用協定ニ基キ南方各支社局トノ
同ニ委員、資材等ノ輸送ヲ実施シテ緊迫化ノ連絡ノ迅速化ヲ図リツ、アリ。

ハ、敵産管理

米系映画配給社パラマウント他七社ノ敵産ニ対スル管理ハ前期ニ引続キ

当社ニ於テ事務継続中ニシテ、本期末ニ於ケル管理資産總額、
拾參万五千七百九拾七圓四錢ナリ。

四、庶務事項

イ、社員總會

本期中ニ開会スルコト左ノ如シ

一、第十四回社員總會

昭和十九年四月二十六日正午帝國ホテルニ於テ開催シ、左ノ事項ヲ

附議承認ス

一、昭和十八年度事業及會計報告ノ件

一、諸報告（機構改革ノ件他二件）

一、第十五回社員總會

昭和十九年十一月二十日正午本社ニ於テ開催シ、左ノ事項ヲ附議承認ス

認

一、株式会社電通映画社トノ契約ニ關スル件

一、諸報告（職制変更ノ件他四件）

一、第十六回社員總會

昭和二十年三月三十日正午本社ニ於テ開催シ、左ノ事項ヲ附議承認

ス

一、昭和二十年年度収支予算案ノ件

一、諸報告（電通映画社経営ニ關スル件他六件）

ロ、理事會

本期中開会スルコト左ノ如シ

昭和十九年四月二十六日

第二十回 理事會

昭和十九年十一月二十日

第二十一回 理事會

昭和二十年三月三十日

第二十二回 理事會

八、役員ノ送任並ニ異動

- 一、定款第五條第一号ニ依ル社員並ニ定款第十四條第一項ニ依ル理事及
 貫良治氏昭和十九年九月二日附辞任後任トシテ箱葉輪一氏ハ読賣新聞
 社厚生局長ニ就任ス

二、職制ノ改正並ニ支局ノ附屬

本期中ニ於ケル職制ノ改正ハ

- 一、四月一日附ヲ以テ別紙ノ通り機構改正ニ伴フ職制ノ一部ヲ変更
 セリ
- 二、十一月十日附ヲ以テ左記ノ通り機構改正ニ伴フ職制ノ一部ヲ変
 更セリ。

- 一、技術研究所ヲ廃止シ特別映画製作所ヲ設ク
- 一、特別映画製作所ニ製映班、技術班、特種技術班、教育映画班、
 研究班ヲ置ク

一、特別映画製作所ニ企画委員会ヲ設ク

一、製作局工務部ヲ廃止ス

- 一、練馬製作所、中野製作所ヲ廃止シ總務局ニ練馬現像所、中野
 現像所ヲ置ク

一、總務局總務部ニ工務課ヲ置ク

工務課ハ練馬ノ中野兩現像所ト本社トノ事務連絡ヲ担当ス

一、海外局連絡部ヲ廃シ連絡課ヲ置ク

支社局ノ附屬ニツイテハ

昭和一九年四月 南方總支社（在昭南）ヲ廢シ昭南支社トス

マニラ支局ヲマニラ支社トス
スマトラ支局ヲバダシニ置キアモチンギ出張所
開設

△ 年五月 南方總局ヲマニラニ開設

△ 年六月 クチン支局バンジエルマシソ出張所ハセレベス
支社所管ノ為名称ヲセレベス支社バンジエルマ

シソ出張所ニ変更

クチン支局ヘ在ボルネオノアピ市移転ニ伴ヒ

アピノ支局ト名称、所在変更

△ 年八月 セレベス支社メナト出張所開設

△ ハリッククパパン出張所開設

アピ支局クチン出張所開設

ビルマ支局^{タイキョー}明妙野對出張所開設

△ 年十月 セレベス支社メナト出張所機能停止

△ 年十一月 スマトラ支局パレンバン出張所開設

ジマカルタ製作所バンドン出張所開設

△ 年十二月 アピ支局サンダカン出張所開設

西貢支局ハノイ出張所開設

昭和二十年一月 マニラ支社機能停止

南方總局ヲ西貢移転

△ 年三月 ビルマ支局^{タイキョー}明妙野對出張所機能停止

尚、昭和十九年四月 昭南支社ニ現像所設置

△ 二十年二月 西貢支局ニ現像所設置

本、諸規程ノ制定並ニ改正

- 一、警報手当支給ノ件 (三月九日附)
- 一、應召、應徴中ノ休職職員医療費補助ニ関スル件 (四月十日附)
- 一、食費手当給与ノ件 (十二月四日附)
- 一、医療補助金支給規程改正ノ件 (十二月四日附)
- 一、國民貯蓄率改正ノ件 (十二月十二日附)
- 一、中南支、広東両支社局、駐在手当改正ノ件 (十二月二十日附)
- 一、朝鮮、台湾、現地採用内地人ニ現地勤務手当支給ノ件 (十二月二十九日附)
- 一、時間外勤務手当、支給日並ニ支給方法変更ノ件 (二十年一月二十日附)
- 一、疎開別居手当支給ノ件 (二月九日附)
- 一、臨時休暇ノ件 (四月十九日附)

ハ、現在職員数

本期末現在ニ於ケル職員数ハ左ノ通りニシテ前期末ニ比シ五七名ノ減少ヲ見タリ

本社	六九二名
練馬 (含特映)	二五三名
中野	五六名
蒲田	一四名
大阪	三三名
九州	二〇名
名古屋	一二名
北海道	六名
京城	五名

ア ピ
 ス ラ バ マ
 マ ラ イ
 × タ ン
 バ レ ン パ ン
 ス マ ト ラ
 ハ ン ケ エ ル マ シ ン
 バ リ ッ ク バ バ ン
 セ レ ベ ス
 バ ン コ ッ ク
 ビ ル マ
 香 港

三 一 四 二 二 一 七 一 三 四 一 二
 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名

西 貢
 バ ン ド ン
 チ マ カ ル タ
 マ ニ ラ
 昭 南
 南 方 總 局
 広 東
 北 京
 中 南 支
 新 京
 屏 東
 台 北

一 二 二 三 一 二 二 二 二 八
 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名

サンダカン
南米

一名
一名
一、一六八名

ト、事 務 所

本期末ニ於ケル本社、銀作所及内地支社局ノ所在次ノ如シ

本 社

本 館 東京都京橋区銀座西八丁目九番地

新 館 東京都京橋区銀座西八丁目七番地

別 館 東京都京橋区銀座六丁目一番地

海 外 局 東京都京橋区銀座八丁目二番地

第 二 分 室 東京都芝区新橋一丁目十番地

練馬現像所 東京都板橋区練馬向山町一五五回番地

中野現像所 東京都中野区本御通二丁目十三番地

蒲田現像所 東京都蒲田区小林町二八八番地

敵産管理事務所 東京都麹町区夙幸町二丁目一番地（大阪ビル）

大阪支社 大阪市北区梅田町一番地映画配給社改

九州支社 福岡市紫院堀端七番地一一四番地

名古屋支社 名古屋市栄区御幸本町二丁目二回番地同盟通信社改

北海道支局 札幌市南二條西五丁目三十番地一

京城支局 京城府太平通一丁目三一番地ノ一

台北支局 台北市西門町一ノ三（新世界館改）

チ、出資並寄附金

本期中ニハ特ニ學カベキ出資金ナシ、寄附金ニツイテハ「防空詭本」

配給収益金中ヨリ防空宣傳費トシテ東京都防衛局ニ対シ金参万四、日本

音楽文化協会へ映画音楽研究費トシテ将来ノ関係ヲ考慮シ前期同様金壹万
田ヲ寄附シタリ。
り社 葬

昭和拾九年度

(自昭和拾九年四月壹日
至昭和貳拾年参月拾壹日)

會計報告書

法人団

日本映画社

		貸 産 之 部								負 債 之 部							
材 料	依 業 資 産	出 資 金	出 資 産	備 品 什 器	機 械 器 具	設 備	建 物	固 定 資 産	資 金	入 社 金	寄 附 金	積 立 金	映 画 技 術 研 究 積 立 金	職 員 福 利 施 設 積 立 金	職 員 退 職 津 帖 金	賞 奨 引 当 金	負 債
二八四、四二三、三〇	五八二、〇五〇、六二	一〇〇、〇〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇〇、〇〇	一八六、七一三、三三	八一、八二〇、九一	一五一、〇六九、九	一八〇、八三一、七一	一、三三〇、四三、 ^四 五二四	八六〇、八七四、 ^四 五二	四〇〇、〇〇〇、〇〇	四六〇、八七四、 ^四 五二	一七三、三〇八、 ^三 〇三	六八一、三八九、 ^三 二	三二六、八二四、 ^三 八	五二二、五〇三、 ^三 三	二〇二、三六六、 ^〇	七一六、二四六、 ^八 七

(1) 貸借対照表

(昭和貳拾年参月拾壹日現在)

雜 勘 定	収 拂 金	立 替 金	別 途 勘 定	海 外 荷 勘 定	合 計
四七、一八〇、七二〇	三二、四七六、一八三	一四、七〇四、五二七	二、三八一、五二七、八四	二、三八一、五二七、八四	六八〇、〇二八、三九九
					合 計
					六八〇、〇二八、三九九

倉 庫 品	仕 掛 品	流 動 資 産	賣 掛 金	有 価 証 券	銀 行 預 金	振 替 貯 金	現 金	諸 積 立 預 金	差 入 保 証 金	支 社 勘 定	振 置 貯 金	借 入 金	買 掛 金	未 拂 金	雜 勘 定	収 受 金	後 期 繰 越 金	前 期 繰 越 金	本 期 繰 越 金
一八五、六七七、二二三	一一、一九五、〇〇九	一、九三四、四六三、一九	三三、一六二、一七八	三一〇、七八四、二八	六五、一五八、九三九	五九、九五四、七	一、二四一、四八七	四七、三〇五、〇九九	七九、二六三、七二	六六、九一五、一九	二、八二七、五〇	三〇、〇〇〇、〇〇〇	一七、九二二、二一六	二、三七〇、二四七、一	一、七八六、四九六、六	一、七八六、四九六、六	三、三一、四二九、九一	三、八六一、六三二、〇六	五、五〇、二〇二、一五
																			合 計
																			三〇、〇〇〇、〇〇〇

收支計算書

(昭和九年四月一日至昭和九年四月一日)

收入之部		支出之部	
事業收入	九、四七九、三一、二四五	事業支出	七、八一四、〇一九、一四
受取利息	四、三八九、三三七	總掛負	二、二六〇、七六二、〇〇
雜收入	一、三七六、四一、四二	職員退職手当金	一、二〇〇、〇〇〇、〇〇
合計	九、六六〇、八四七、二四	支拂利息	一、三二八、八八〇、〇〇
		雜損失	二、九八〇、〇〇〇、〇〇
		本期繰越金	五、五〇二、〇〇二、一五
		合計	九、六六〇、八四七、二四

(一) 財產目錄

(昭和九年四月一日現在)

科目	摘要	金額
建物	練馬、中野區製作所建物	一、八〇八、三一七、一
設備	右建物附帶設備	一、五一〇、六九二、九
機械器具	攝影、錄音、現像用機械器具	八、一一八、二〇九、一
備品	事務用備品什器	一、八六七、一三三、三
出資	社団法人映画配給社出資金	一〇〇、〇〇〇、〇〇〇
材料	生フィルム在庫高	二、八四四、二三三、〇
倉庫	藥器其他貯蔵品	一、八五六、七七二、三
仕掛	作業中映画製作品	一一一、九五〇、〇〇九
賣掛	映画売却代金未回収高	三、三一六、二一七、八

有 酒 証 券	株券並ニ續券保有高	三一〇七八四二八
銀 行 預 金	帝國銀行日比谷支店並ニ他銀行預金高	六五一五八九三九
振 替 貯 金	振替貯金高預金高	五九九五四七
現 金	本社午持現金高	一二四一四八七
諸 積 立 預 金	職員退職準備金並職員積立金預金高	四七三〇五〇九九
差 入 保 証 金	家賃敷金其他保証金預金高	七九二六三七二
支 社 勘 定	内地並大陸支社高午持現金高	六六九一五一九
振 置 貯 金	帝國銀行日比谷支店貯蓄券預金高	二八二七五〇
板 拂 金	機械手附収金並ニ旅費其他前渡金未納付高	三二四七六一八三
立 替 金	參謀本部他立替未回収高	一四七〇四五二七
海 外 高 勘 定	海外高ニ対スル資金貸與高	二三八一五二七八四
合 計		六八〇〇三八三九九

右審查候處相違無之候也

昭和貳拾年參月參拾壹日

監事

監事

改
正
職
制

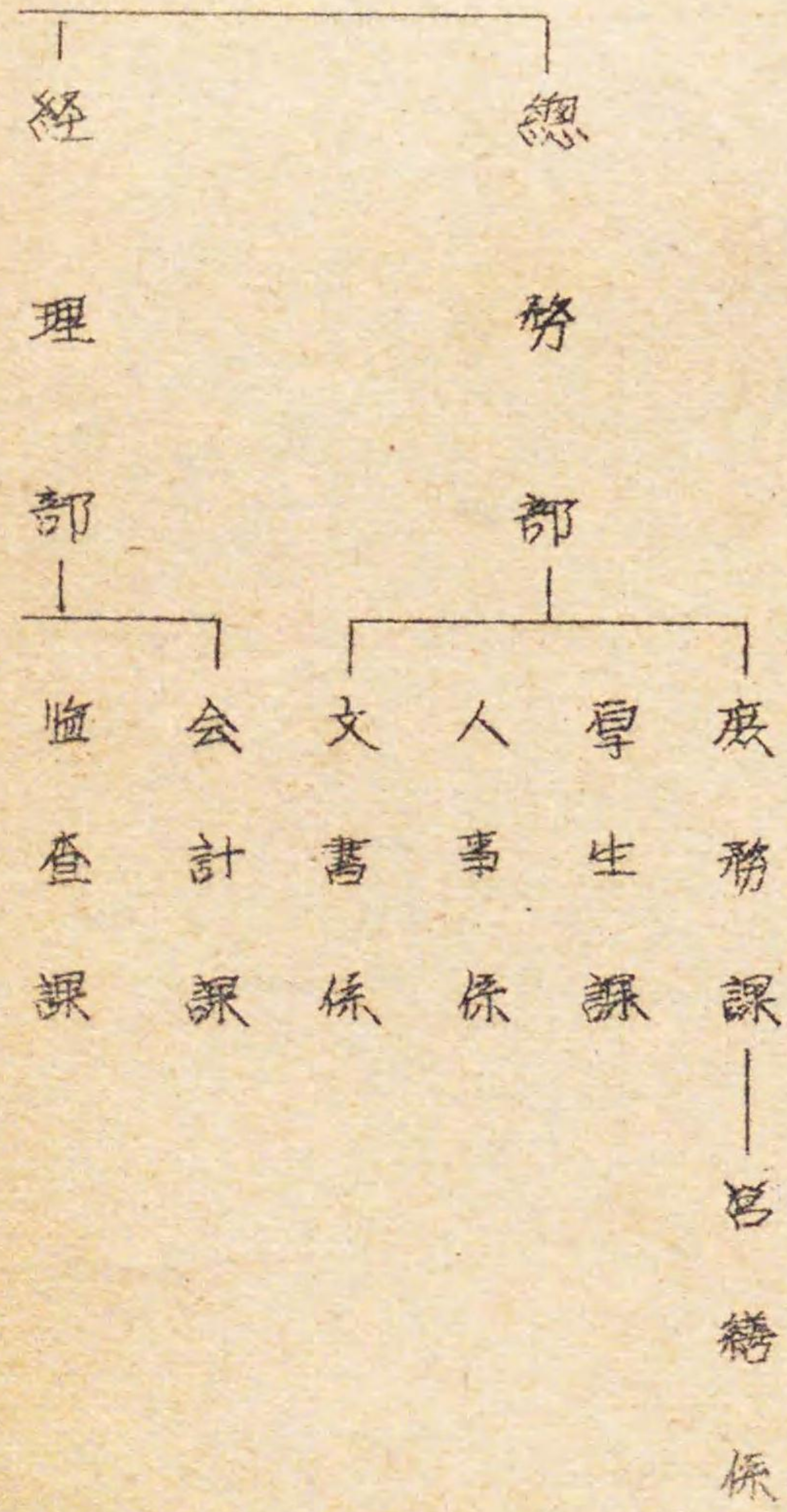
法社
人団
日
本
映
画
社

社内回状第五〇号

◎ 機構改正

本社職制左ノ如ク改正ス（四月一日附）

役員會

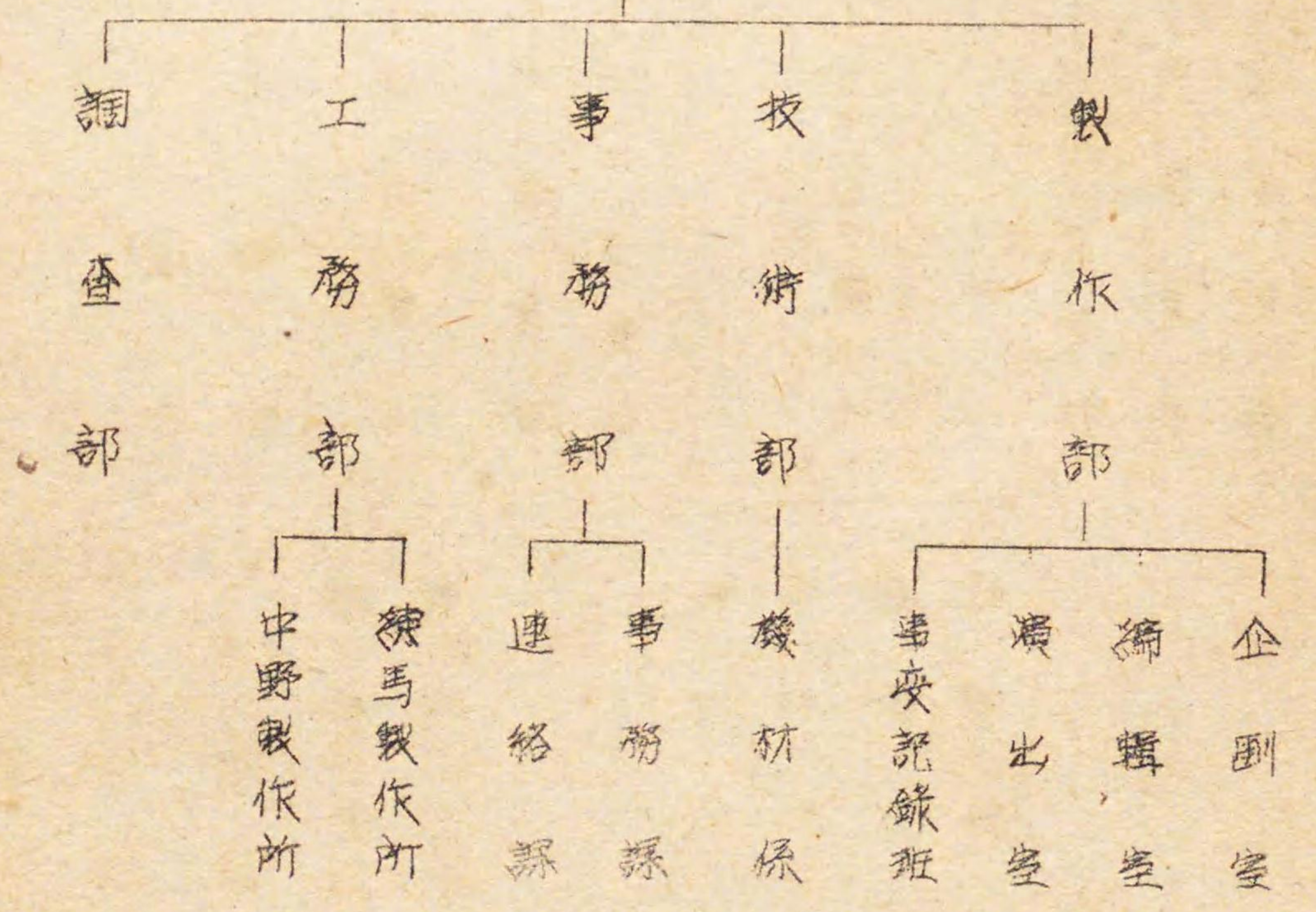


昭和十九年四月一日

◎ 製

作

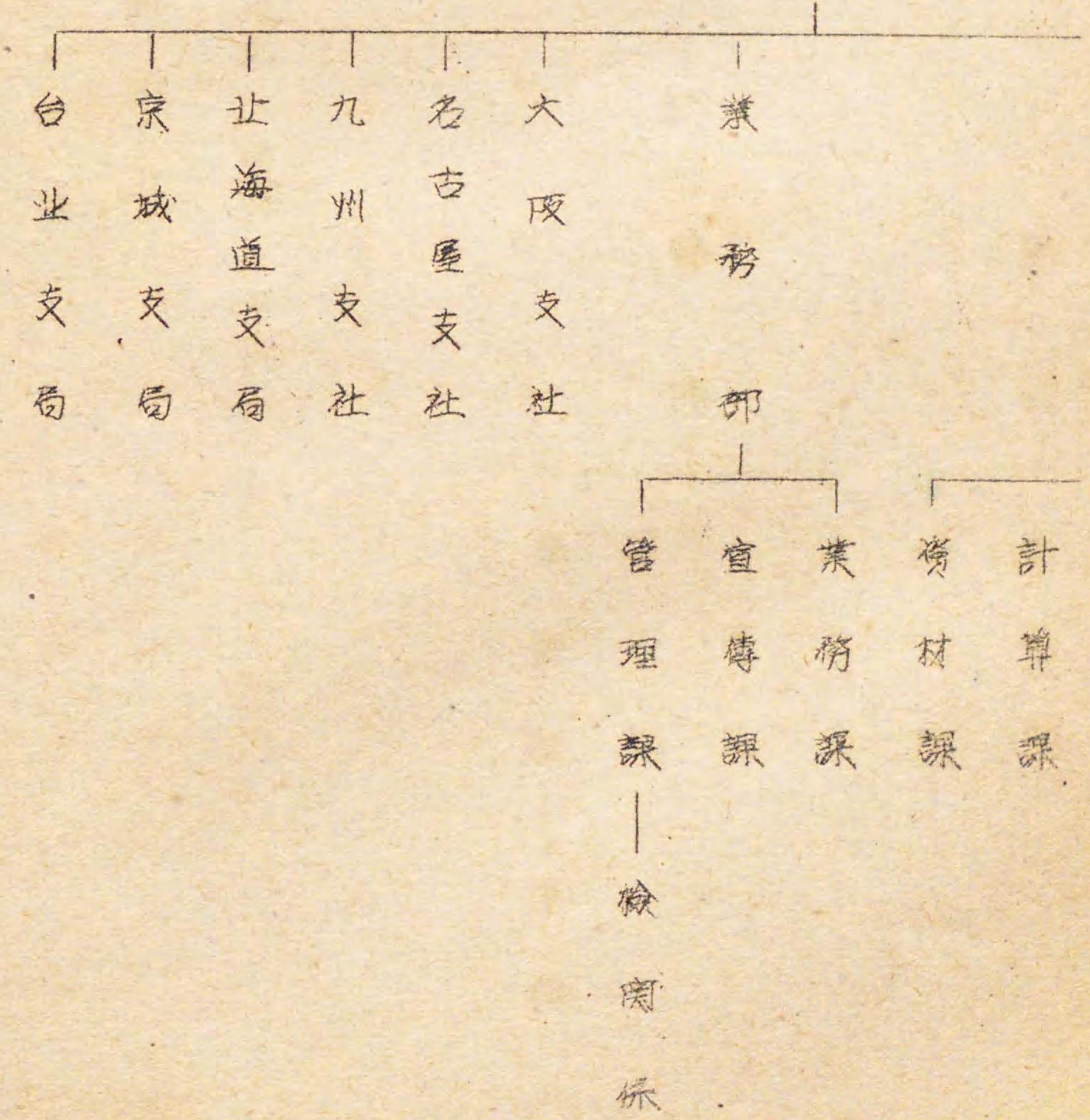
局



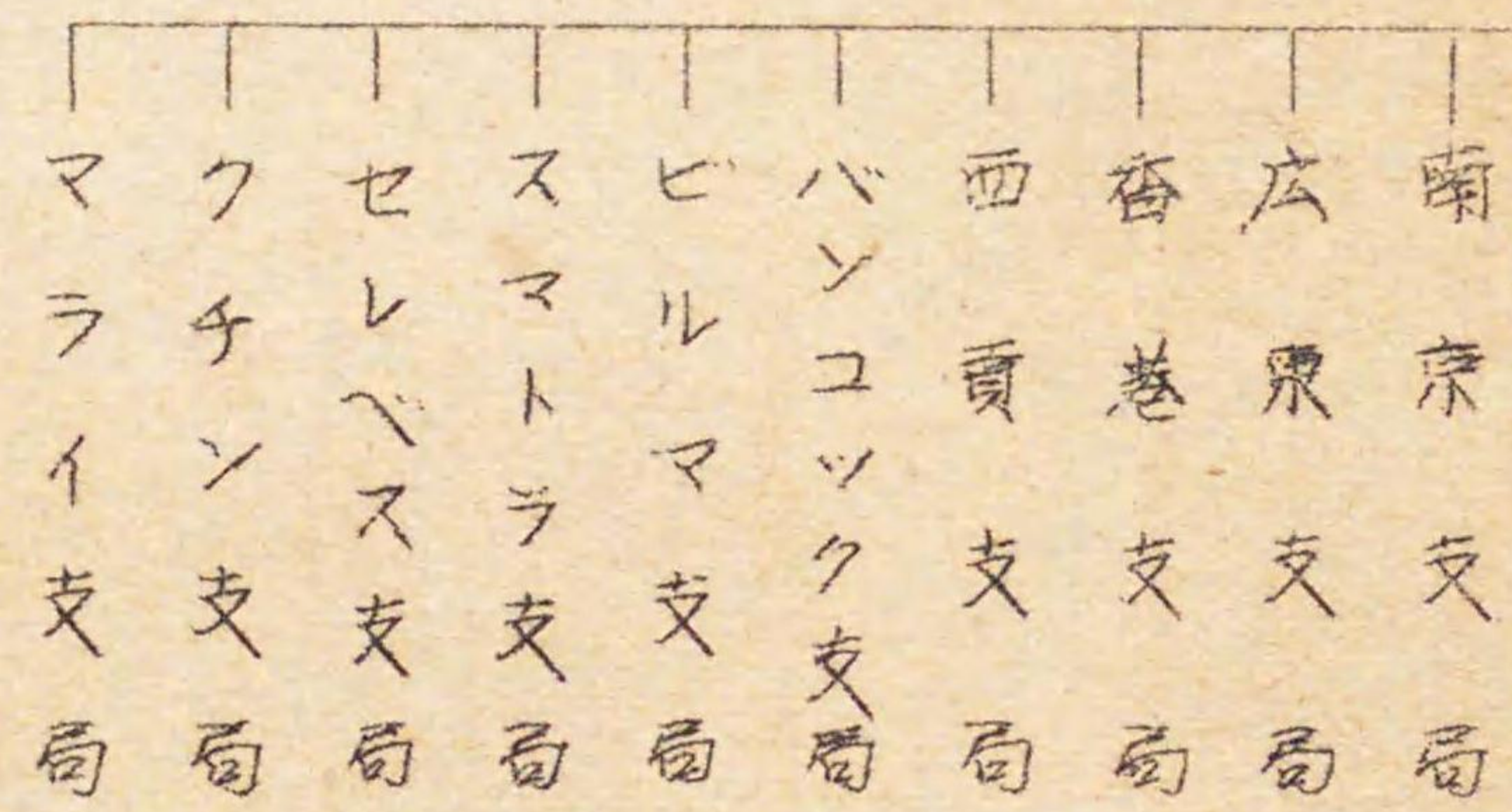
◎ 總

務

局



◎ 技術研究所



以

上

◎ 海外局

